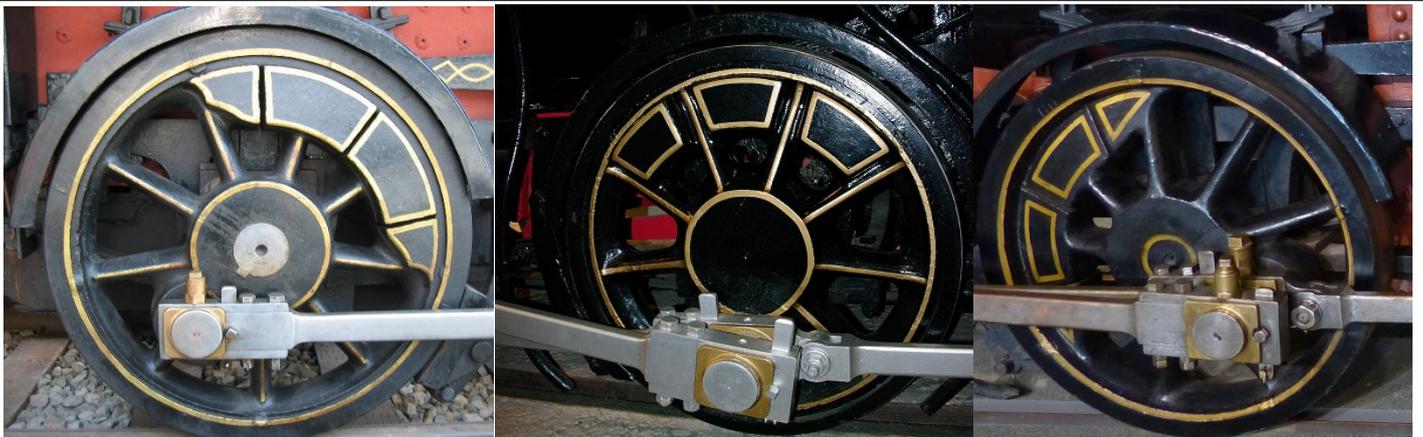
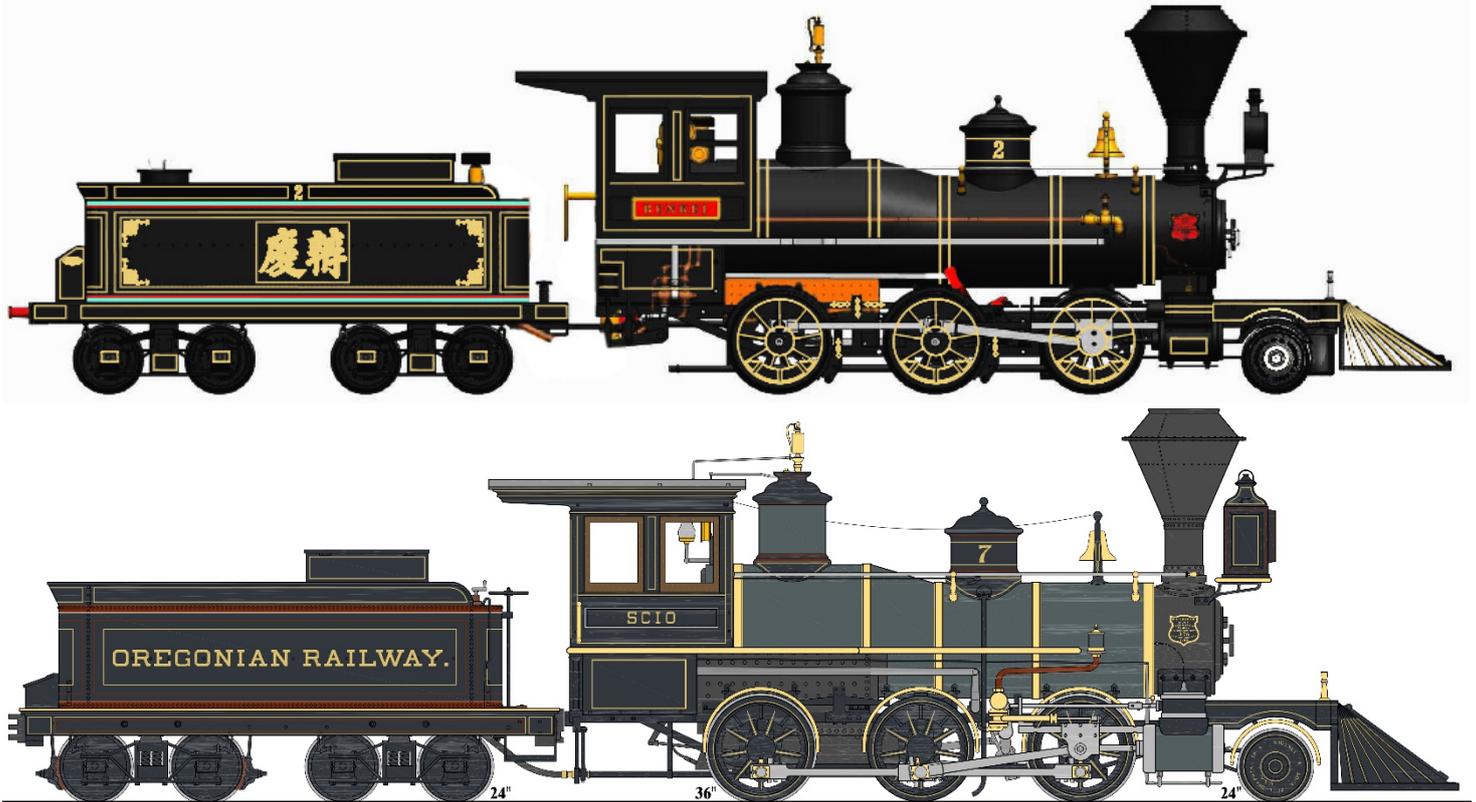


弁慶と言っていますが。2024年冬モデルです！

基本、義経が、日本型のプロトタイプになります。何故かと言うと、資料が、多いからです。ただ弁慶と言っているのは、外人にも言い易いので「東」の機種名を使っているだけです。JR西さんには取材もさせて頂いております。あくまで、国内仕様は、西さんの、基本「義経」です。只、オリジナルは、UPポーターのオレゴン鉄道仕様です。この外観を「基本」とします。その他のUS仕様は、北海道の物と、煙突の格好が異なるから、USの他社仕様に関しても、日本仕様と同様に、オーダーメイドになるでしょう。US仕様と北海道(日本仕様)の違いは、外装色とランタンだけです。

US仕様は、ランタンが点灯しますが、これは下の図を見て分かる様にUSオリジナルのランタンが、デカイからバッテリーを仕込める、そして値段も日本仕様 비해若干高いからです。とは言え日本仕様は日本でしか売れないでしょうから、オーダーメイド。在庫を置く気は、更々有りません(ほぼ)ので、日本型を希望する方は、必ず機種を明記の上、早めにご予約下さい。



義経と弁慶としづかのカウンターウェイト。しづかと義経は同じですが、弁慶のみ格好が異なります。しかし全て義経仕様(US仕様)のカウンターウェイトに統一します



Japanese Only 予約特別価格は設定しますが。(価格未定ですが予約は、受付けています)

弊社経由で予約される日本人のお客様に対しては、北米や欧州のお客様みたいに150ドルの予約金を寄越せ！なんて野暮は言いません。只、この性能を保持できるだけのMC(材料費)をかけます。正式価格は、まだ決定していませんが、弁慶でKIT2000ドルを切れるか？と言う感じです。

BR80は、3000ドルを下回りますが、2500ドルよりは、高くなりそうです。勿論、予約者以外は、定価販売で且つ送料と各種税金が加算されます。ご理解の上、予めご容赦ください。今の、アメリカの傀儡でもある、チキンな日本政府や、欧州議会選挙の結果マジで自己中の権化と成りつつある、欧州の動向を鑑みると、まあ円高に戻るのは、夢物語でしょうねえ。\$ = ¥160を幾ら下回れるか？の攻防でしょう(オリジナルのUSポーター仕様は、ヘッドライトが点く等、若干日本仕様より装備を上げますので価格は、アキユ設定のドル価格の儘です)

基本的に、材料価格は、ドルベースで検討しています。其処が、今迄と異なります。円ベースでは考えていないのですが、これは世界中、どこで買っても同じモデルは、同じ値段にする。と言うポリシー故です。ご理解ください。

リリースの順番としては、弁慶(ポーターのモーガル)が先で、現時点でBR80の開発は、P2の関係で、止まっていますので、BR80のリリース予定は、来年以降です。弁慶の性能は、このリンク先で確認してください:<https://youtu.be/GENQ-Ntyk10>

2024年冬モデル用の牽引車輛ですが？

基本、出す予定です。これは典型的なGゲージ(ナローゲージ)の米国型の客車と形状が同じだからです。但し、National Railway of Hokaidoとか「開拓史」等と云うマークが入るかは、購入者の反響次第です。ただプラスチック(樹脂)製で、軽く頑丈で且つ安い客車になるのでご自身で適当なプラモデル用塗料と、文字を付ければ問題ないかなあ？とも思います。牽引車輛は、基本客車以外でも、Gゲージの物であれば問題は有りません。ただ問題となるとすれば、テンダーと、牽引車輛の引き棒(ドローバー)をどうすべきか？だけでしょう。基本、自動カップラーを付けておきますが、これはGゲージ用。ですから、見た目がかいです。しかし実物は「棒」カップラーの様でした？ポケットの写真を見ると、翌年以降の発売。故に、汽車とのセット売りはしません。

